

2017 年度

中国留学報告書

実習先：北京師範大学

実習期間：8月28日（月）～1月9日（火）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016005
安藤冴莉

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3
	4 - 1 研修のスケジュール	3
	4 - 2 研修の詳細	3
5	所感	4
6	おわりに	4
	謝辞	5

付録

	留学中日程	5
--	-------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

留学期間：平成 29 年 8 月 28 日（月）～平成 30 年 1 月 9 日（火）

2 留学先概要

(1)大学について

北京師範大学は中国の首都、北京市に位置する大学で 100 年以上の歴史を持っている。教育学、心理学、中国史、地理学、生態学の 5 教科は全国トップレベルである。また、国際交流にも力をいれており、日本を含めた 50 以上の海外の大学と交換留学プログラムを提携している。

(2)大学で行われている教育について

留学生は初めに受けるテストによってクラス分けされる。これによって自分の中国語レベルにあった授業を受けることができる。授業は中国語と中国文化に関することの二種類である。

3 留学目的

語学力の向上、異文化の体験

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

曜日	1	2	3	4
	8:00-9:40	10:00-11:40	13:30-15:10	15:30-17:10
月	读写	会話	中华文化	
火	辅导	听力		
水		读写	听力	
木			读写	会話
金	会話	听力		

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)读写

リーディングの授業。教科書を読み、文法、単語を理解する。

ii) 听力

リスニングの授業。CD をきき、理解する。

iii) 会話

スピーキングの授業。文章を朗読し、理解する。文法、単語、発音を学ぶ。
週に一度 2,3 つの中からテーマを選択し、プレゼンする。

iv) 辅导

補習。上記の授業のわからないところを補う。

v) 中华文化

切り絵、水墨画、習字

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 語学力の向上

中国語を日常的につかうことによって、留学前よりも言葉が出てきやすくなった。
中国語で行われる授業によって、聞く力が増した。

ii) 異文化の体験

中国文化の授業によって伝統的な技法に触れることができた。
外国人であるルームメイトや、クラスメイト、中国人の友達と交流したことによって、日本とは違う文化を体験することができた。
実際に中国で生活することによって、中国の食、交通、街の様子などを具体的に知ることができた。

6 反省・課題

反省として、慣れない環境での体調管理の甘さがまず挙げられる。日本とは違う気候、食で体調を崩すことが多く、積極的に大学外へ行くことができなかった。次に、留学前よりは改善されたが、間違っているかもしれない言葉を話すことが恥ずかしく積極的に中国人や他の留学生に話しかけることができなかった。

課題としては、中国から離れることによる、語学力の低下があげられる。日常的に中国語を話すことはなくなったが、留学中の感覚を忘れないために積極的に中国語に触れていきたい。

謝辞

授業を担当して下さった北京師範大学の先生方、参加者の面倒を見て下さった李さん、留学前に指導をして下さった佐藤先生、區先生、奨学金の手続きなどをしてく下さった高井さん、本当にありがとうございました。新潟国際情報大学からいただいた奨学金により、留学することができ、貴重な経験を得ることができたことを心より感謝申し上げます。

付録

日付	内容
8月28日	出国
8月31日	クラス分けテスト
9月1日	入学式
9月3日	クラス発表
9月4日	授業開始
9月4日~9月29日	授業
10月1日~10月8日	国慶節、中秋節（休日）
10月9日~11月1日	授業
11月2日~11月3日	テスト
11月7日~11月12日	※語学実習
11月13日~12月29日	授業
1月2日~1月3日	テスト
1月5日	終了式
1月9日	帰国

※語学実習

語学実習では河南省へ行き、歴史的建造物、自然遺産や博物館をみる。旅行費は自費500円（約8,500円）で大部分を北京師範大学が負担してくれる。



